

事業の背景・目的

雲南市で自然繁殖しているコウノトリや出雲市で一般公開が開始されたトキは、ともに田んぼを採食地にして広範囲に移動する生態ピラミッドの頂点に立つ高次消費者として、生態系の健全さ、生物多様性の指標となります。そこで、コウノトリやトキと共に生きる自然豊かで魅力あふれる持続可能な地域の実現に向けて、島根県・出雲市・雲南市が事務局となる本協議会が中心となり、多様な主体や地域の参画及び広域の連携・協働、継続的な活動の推進を図りつつ、出雲・雲南地域生物多様性連携保全活動計画を作成し、環境づくりや普及啓発活動等により効果的・効率的に取組むことで、生態系ネットワークの形成や地域振興、取組みへの認知度および共感を高めることを目指します。

事業の内容

【令和元年度】コウノトリ・トキの生息環境の現状把握と、地域住民の認知度向上のための普及啓発、ビオトープの試験整備、目標設定や各主体の役割など、継続的な取組みを行うための計画の骨子についての検討・作成を行った。

- 事業① 生態系ネットワーク形成検討調査事業
・採食環境の分布及び生物調査実施、採食環境整備を検討
- 事業② 普及啓発及び地域振興方策検討事業
・学習会、イベント、広報資料作成による普及啓発
- 事業③ 「出雲・雲南地域連携保全活動計画」策定事業
・調査データを元にした活動計画の骨子の作成と検討

【令和2年度】コウノトリ・トキの生息環境の把握と分析、地域住民の参画を図るための普及啓発、ビオトープの整備・維持管理手法の検討、体験型交流等地域振興策の検討、各主体が連携して継続的に取組むための活動計画を策定した。

- 事業① 生態系ネットワーク形成検討調査事業
・生息環境条件調査、採食環境の管理手法を検討
- 事業② 普及啓発及び地域振興方策検討事業
・普及啓発に加え、体験型交流等地域振興方策を検討
- 事業③ 「出雲・雲南地域連携保全活動計画」策定事業
・2年間の調査データと検討内容を元に活動計画を検討

【令和3年度】前年度に作成した行動計画を基に、当協議会が中心となり地域住民や様々な団体が連携し、「コウノトリやトキと共に生きる環境づくり」を中心として生物多様性保全を図る各種取組みを開始した。

- 事業① コウノトリやトキと共に生きる環境づくり
・環境直接支払制度等に関する検討及び、モデルビオトープの管理
- 事業② 自然環境の把握
・専門家による生きもの調査の実施及び、住民参加型調査の検討
- 事業③ 豊かな自然環境や活動の情報発信
・ホームページ開設及び、地域住民向対象の学習会を開催
- 事業④ 環境づくりを通じた交流促進
・体験型交流イベントに関する研修、意見交換を実施

得られた成果

3年間の取組みを通じて、コウノトリやトキと共生するまちづくりや生物多様性保全の重要性が周知され、市民意識が向上したことに加え、自治体、NPO、関連団体との連携や取組みの活発化を図ることができた。また令和3年4月には、当協議会が検討を進めてきた「出雲・雲南地域生物多様性連携保全活動計画」の策定に至った。この計画には「コウノトリやトキと共に生きる環境づくり」を中心に、「自然環境の把握」「豊かな自然環境や活動の情報発信」「環境づくりを通じた交流促進」の3つをあわせて取組むための具体的な内容や体制などがまとめられている。今後はこの行動計画を基に、出雲市の「トキによるまちづくり構想」や雲南市の「幸せを運ぶコウノトリ」と共生するまちづくりビジョン・アクションプラン」、更に「斐伊川水系生態系ネットワーク構想」など関係する計画等と調和を図りながら、引続き生態系ネットワークの形成や地域振興に向けた取組みを継続していく。